

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 交通事故緊急対策担当
 内線: 5098 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B11	社会資本整備総合交付金(維持)事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路維持費	社会資本整備総合交付金(維持)事業費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	道路法		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	1, 11, 13
					分野施策	020517 地震に備えたまちづくり	SDGsターゲット	1-5, 11-7, 13-1
1 事業の概要			5 事業説明					
老朽化する道路施設の更新や道路構造物の点検実施により、適切な道路の維持管理を行う。 (1) 舗装修繕事業 98,834千円 (2) 災害防除事業(冠水対策) 169,020千円 (3) 通学路安全対策事業 40,000千円 (4) 自転車通行空間整備事業 73,520千円 国の補正による増額補正			(1) 事業内容 ア 舗装修繕事業: 長寿命化を踏まえた舗装の修繕を実施する。 イ 災害防除事業: 台風や豪雨により、冠水の危険性がある箇所について、対策工事を実施する。 ウ 通学路安全対策事業: 通学路安全総点検の結果を踏まえ、防護柵の設置など安全対策を実施する。 エ 自転車通行空間整備事業: 自転車の通行位置の明示などを行い、適切な異種交通の分離を実施する。 (2) 事業計画 ア 舗装修繕事業 : 一般県道阿佐間幸手線外 1箇所 イ 災害防除事業 : 一般県道蓮田白岡久喜線外 6箇所 ウ 通学路安全対策事業 : 一般県道和光志木線外 2箇所 エ 自転車通行空間整備事業: 主要地方道川越所沢線外 1箇所 (3) 事業効果 舗装の路盤等を含めた修繕を実施することにより、長寿命化を図る。 冠水対策を実施し、道路災害を未然に防止することにより、地域生活の安心安全に大いに寄与する。 防護柵設置などの安全対策を通学路に実施することにより、子どもの安全を確保する。 自転車通行空間の整備を実施し、適切な異種交通の分離を図ることで、歩行者や自転車の安全を確保する。					
2 事業主体及び負担区分			○社会資本整備総合交付金					
国1/2・県1/2			国5.5/10・県4.5/10					
3 地方財政措置の状況			補正予算債 充当率 100% 交付税措置 50%					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×2人=19,000千円					
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	381,374	国庫支出金	196,363	県 債	184,000		1,011	433,374
現計額	52,000		22,500		29,000		500	